

むらのだより

令和4年度
第1号

校長挨拶

八期生三十八名（本校三十二名、共生推進教室六名）を迎えた頃の春の柔らかな光は、梅雨の雲間に消えて行き、そして早くも、眩しく、ぎらぎらした陽射しが降り注ぐ季節を迎えようとしています。今年も厳しい暑さが予想されています。熱中症対策に万全を期して、生徒たちが安全安心に学校生活を送れるよう、努めてまいります。

さて、本校の生徒たちは、これまで、天の川カフェの営業や近隣施設へのクリーニング集配、未就園児とのふれあい授業など、地域の皆さまとの交流による貴重な経験を積み重ねて、達成感や自己肯定感を高めてきました。この二年間はさまざまに教育活動が制限されてきました。しかし、新型コロナウイルスの感染状況はまだまだ予断を許さないうえ、一時期に比べるとやや落ち着きを見ており、日常生活における制限も少しずつ緩和されてきています。そこで、本校でも、生徒たちの「生きる力」を育むために必要な教育活動の再開に向けて、

これまで通りの感染対策を継続したうえで、どのように取り組んでいくのかを検討しています。一日も早く、生徒たちの元氣な挨拶と笑顔を皆さまにお届けしたい！という思いを強くしています。

今後とも、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



【森本校長】

むらの「Smile&Music」プロジェクト

六月十八日（土）、枚方市総合文化芸術センターにて、枚方市と認定NPO法人ミュージック・シェアリングが共催する「ミュージック・シェアリングフェスティバル」が開催されました。昨年度より始まった「むらのSmile&Music」プロジェクト。昨年六月から認定NPO法人ミュージック・シェアリングの楽器指導支援プログラムを活用し、二年生の音楽の授業でサポートインストラクター

三年生近況

の方々から弦楽器演奏の指導を受けてきました。本イベントは、二年生の頃から一年間楽器指導を受けてきた三年生にとって、その集大成を披露する場となりました。また、枚方市出身の世界的なヴァイオリニストである五嶋みどり様との共演も実現することができました。演奏後の楽屋には枚方市長の伏見様が足を運んでくださり、「やればできるんだと自分に自信をもって、これからも色んなことにチャレンジしてほしい。」と激励のお言葉をいただきました。

ミュージック・シェアリングフェスティバルと同時に本校二年生による「スマイルフェスタ」も開催されました。プロダクトデザイン科は木工・産業製品を、フードデザイン科は野菜や製菓を、リビングデザイン科は布小物を販売しました。メニュー表や案内板もリビングデザイン科の生徒が作成しました。本校の生徒が作った製品を多くの方々にお買い求めいただきました。ミュージック・シェアリングの方々や五嶋みどり様にも本校の製品をご購入いただきました。

一年生は、三年生の演奏を鑑賞したり、二年生の販売の様子を見学したりしました。舞台上で堂々と演奏する先輩の姿や笑顔でテキパキと接客する先輩の姿を見て、自分たちも早くやってみたいと期待に胸を膨らませていました。

『MURANO PRIDE』
三年生としての自覚と行動』
を合言葉に最終学年をスタートしました。四月の進路三者懇談では自分に適した働き方を相談し、マッチングした企業が開拓でき次第、順次、現場実習にチャレンジしています。これまでとは異なり、現場実習は各自の日程で実習準備や事後学習に取り組まなければなりません。また、六月には生徒・保護者向けの就活説明会を開催しました。職業専門学科の作業を見学してもらった後、先輩の事例なども交えながら質疑応答を行い、貴重な学習機会となりました。

六月十八日には一年間、取り組んできた楽器指導支援プログラムの集大成として五嶋みどりさんと待望の共演をしました。舞台上で千人を超える聴衆から大きな拍手をもらった生徒たちの表情は安堵や喜び、涙、自信に溢れていました。将来につながる大きな経験となりました。



【三年生の様子】

二年生近況

五月に今年度初の職場実習（五日間）を終えたばかりの二年生たちですが、引き続き六月十八日（土）の「スマイルフェスタ」（「Smile&Music」）との協賛イベント「専門学科製品販売会」に向けて舵を切り、準備作業に大忙しの日々を過ごしました。でも苦勞の甲斐あって、販売会は大盛況！

会場の枚方市総合文化芸術センター内イベントホールは、まるでバーゲン会場のような混雑ぶりでした。たくさん準備した製品が、次々に売り切れていく様子に思わずガッツポーズの生徒も。ご来場くださった皆様、本当にありがとうございました。生徒たちはこのイベントを通して、労働の努力や苦勞が報われる瞬間を肌で感じ取ることができたのではないのでしょうか。



【二年生「スマイルフェスタ」の様子】

一年生近況

八期生たちがむらのに入学してからもうすぐ三カ月になりました。生徒たちはすっかり本校の雰囲気や生活に溶け込んだ様子で、毎日一生懸命に学校生活を送る様子が窺えます。五月三十一日には共生推進教室と合同で校外学習が実施されました。万博公園でのワークショップや班での食事や買い物を楽しんでいました。職場体験実習では五月、六月と四日間経験し、働くこの大変さを目の当たりにし、就労の厳しさを体験することができました。

十月にはいよいよ職場実習が始まります。「実習の意義」や「働く意識」などについてしっかり準備に取り組みます。一年生たちももうすぐ社会へと巣立つための準備が始まっています。



【一年生の様子】

オープンスクール

七月二十二日（金）二十五日（月）二十六日（火）の三日間、本校のオープンスクールを開催します。学校生活の取り組みや充実した設備等を多くの方々にご参加いただき、知っていただきたいところですが、今年度も感染症対策として参加者を中学校等の三年生・二年生生徒とその関係者の方限定で開催させていただきます。楽しみにしていただいていた方々におかれましては、ご理解いただけますと幸いです。

今年度のオープンスクールの内容は在校生徒による受付・案内から始まり、授業紹介や職業に関する学習の体験授業を実施します。すでにたくさんの方々が申し込みをいただいております。これから充実したオープンスクールになるよう準備を進めてまいります。ご参加いただける方々におかれましては、当日お会いできますことを楽しみにお待ちしております。



【カフェ・農園芸の様子】



【むらのの
マスコットキャラクター
「クルくん」】

アビリンピック出場

七月二日（土）に摂津市のポリティクセンター関西でアビリンピック大阪2022が開催されました。本校からは、オフィスアシスタント部門に四名が出場しました。生徒たちは、放課後に練習を重ね当日に臨みました。全員、初めての出場ということでも緊張していましたが、出場したことで気づいたことやわかったことがたくさんあり、貴重な経験となりました。結果は、四名共に、努力賞という成績でした。



【出場の様子】

卒業生進路状況

昨年度の卒業生の進路状況を報告します。卒業生三十七名（共生推進教室含む）のうち、企業就労三十一名、（本校二十六名、共生五名）障がい者福祉事業所五名（本校四名、共生一名）職業訓練校一名（本校一名）でした。就職はゴールではなく、新たなスタートとして、長く勤めてほしいと願っています。関係各機関と連携をしながら職場定着を進めていきたいと考えております。

種別	仕事内容	人数	人数
就職	製造業	9名	31名 本校：26名 共生推進：5名
	卸売業・小売業	8名	
	医療、福祉	4名	
	運輸業、郵便業	3名	
	サービス業	2名	
	宿泊業・飲食サービス業	2名	
	不動産業、物品賃貸業	1名	
	学術研究、専門・技術サービス業	1名	
	建設業	1名	
障がい者 福祉事業所	就労継続支援A型	3名	5名 本校：4名 共生推進：1名
	就労継続支援B型	1名	
	自立訓練	1名	
職業訓練校	訓練	1名	1名 本校：1名
五期生卒業生			計 37名 本校：31名 共生推進：6名